

市町村議会議員特別セミナー

市町村議会議員特別セミナーを、11月1日、2日の2日間の日程で開催しました。全国各地からご参加いただいた92人の市町村議会議員の皆様に聴講いただきました。

初日は、「自治体議会のズレ、その分析と補正」と題して、元衆議院法制局参事で、議会アドバイザーとしてご活躍されている吉田利宏氏から、自治体議会と市民感覚とのズレのほか、法律上の使命や時代等とのズレと、それを修正する方策についてご講演いただきました。参加者からは、「ズレという視点から議員としての姿勢を問われ、大変勉強になった」、「有志でズレを修正する改革に着手したところなので、非常に参考になった」等の感想をいただきました。

次に、「あるものを使い切る、あるものから新しい価値を作り出す」と題して、岡山県真庭市にある銘建工業株式会社代表取締役の中島浩一郎氏から、バイオマス発電やCLTの開発等に取り組んでこられた実績を踏まえて、地域にある資源を使って新しい価値を作り出し、循環社会を実現してSDGsを進めていくこと等についてご講演いただきました。

参加者からは、「SDGsを進めるうえで、地域に密着したしくみづくりの重要性を教えていただいた」、「日本の林業の実情と、諸外国の取り組みとの比較に衝撃を受け、日本の林業システムの再考が必要だと痛感した」等の感想をいただきました。

した。

2日目は、「コロナ後の日本のまちづくり」と題して、日本総合研究所調査部主席研究員の藻谷浩介氏から、日本が今“幕末化”している等の問題が提起され、全数調査の数字から事実を確認して正確に現状を把握することの重要性を確認したうえで、都会の劣化と一部過疎地の再生や、地方の真価等についてご講演いただきました。参加者からは、「目からウロコの内容であった」、「報道されていることと事実との違いに驚いた」、「いかに自分が、自分で調べて確認することを怠っていたかを知った」等の感想をいただきました。

最後に、「地域再生の失敗学～地域経済の現状と課題～」と題して、明治大学政治経済学部教授の飯田泰之氏から、人口増加は地域活性化の目標にはならないこと等を確認したうえで、地域特有の強みの発見や地域の人的ネットワークの活用によって、地域内で資金が循環する構造を作っていくことが重要であること等についてご講演いただきました。参加者からは、「自分の自治体の資金の循環状況をさっそく調べてみたい」、「いかに地域の強みを見つけ、付加価値を高める取り組みで地域経済を再生していくかが重要である」、「移住のためのインセンティブ政策の問題点、脱成功モデル、脱専門家、商圏の見直し等の話が新鮮だった」等の感想をいただきました。

自治体議会のズレ、その分析と補正

元衆議院法制局参事
吉田 利宏氏



あるものを使い切る、あるものから新しい価値を作り出す

銘建工業株式会社代表取締役
中島 浩一郎氏



コロナ後の日本のまちづくり

日本総合研究所調査部主席研究員
藻谷 浩介氏



地域再生の失敗学～地域経済の現状と課題～

明治大学政治経済学部教授
飯田 泰之氏

